

システムクリエイト

生産管理ソフト販売に新戦略

講演とデモ一体で

5月、全国展開へ一歩

中小製造業に特化した生産管理システムソフトの開発、製造、販売を手がける(株)システムクリエイト(相模原市相模原一―二五、久保知代表

取締役会長)は業務拡大の一環として五月十九日、東京・大田区の大田区産業プラザでITの専門家による経営講演会と自社製品のデモ実演をセットにしたセミナーを開催する。

同社の開発ソフトは在庫、工程進捗、受注・発注、原価など製造業に必要な業務を各部署ごとに独立したユニットに収め、事業規模や必要な管理項目に応じて組み合わせられる特徴がある。

〇五年二月、横浜で開かれた「TUNAMIベンチャーフェア」に出品して以後、ひと月に六百件の問い合わせを得るほどの好評を博し、すでに数百社に導入している。久保会長は「中小製造業が管理ソフトに投資できるのは三百万円が上限。他に比べてコストの低いこの価格で売り出したこ

とも好評の原因だと思ふ」と話す。十二月には営業部門の強化を図り、相模原一―三三八に事業所を新設。三人の従業員を新たに雇用した。

五月からのセミナー展開は、「景気好転のムードの中で中小製造業も忙しくはなっているが人手不足、製造単価の低下、受注量の変動など課題は多い。生き残れるかどうかはこの問題を解決できるかどうかにかかっている。問題解決にIT導入が不可欠」との会長の読みが基になっている。

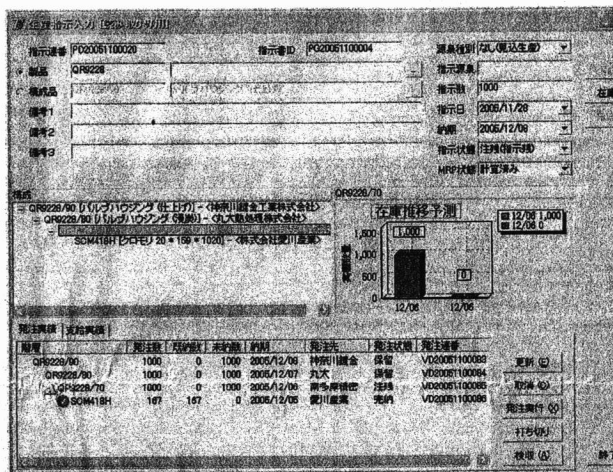
講演のテーマは「強靱な企業体質作り・欠かせぬIT経営」。講師に田中渉氏(経済産業省推進資格ITコーディネーター)を招く。すでに関東一円の約五千社にメールで案内を送った。「三十から四十社の参加を期待している」と同会長。「もと

もとソフト購入企業には実情に合ったアドバイスを行っており、効果は歴然といった反応を得ている。今後はITコーディネーターなどと連携して経営相談にまで踏み込んだ営業を展開したい」と更なる業務拡大に意欲を燃やす。

「経営者の勘に頼るどころか勘定な経営の時代ではない。生産性と効率化を数字で実証するのが経営者の役割(同会長)との発想に基づくセ

ミナーは全国展開も視野に入れて継続する計画で、七月には厚木市で二回目を開催する予定だ。

中小ソフト製造業者で自社ブランドの最終製品をネット販売している企業は極めてまれという。専門家による経営アドバイスと自社製品のPRをカップリングし、生産管理ソフトの導入を経営課題解決の糸口にしてもらおうという作戦がどこまで波紋を広げられるか注目される。



システムクリエイトの生産指示ソフト